

井林 いたやし
たつのり

-通信 第七十六号-

井林たつのり事務所

〒426-0037

藤枝市青木3-13-8

TEL 054-639-5801

FAX 054-639-5802

Mail office@t-ibayashi.com

HP http://t-ibayashi.com

井林たつのり国会事務所

〒100-8981

東京都千代田区永田町2-2-1

衆議院第一議員会館919号

TEL 03-3508-7127

FAX 03-3508-3427

測量士試験 制度改正

衆議院議員 井林たつのり

生年月日 昭和51年7月18日

住 所 藤枝市本町

本 籍 榛原郡川根本町(お茶農家)

【経歴】京都大学工学部卒業、同大学院環境工学修了

平成14年より国土交通省勤務、平成22年6月退官

平成24年12月初当選(五期目)

平成28年8月環境・内閣府大臣政務官

令和3年11月自民党 財務金融部会長

令和5年 9月内閣府副大臣

令和6年11月衆議院財務金融委員長

税制調査会幹事(インナー)、物流調査会長

自民党静岡県連会長

静岡県サッカー協会中西部支部 会長

【家族】妻・長女・次女

【趣味】野球、水泳【好物】焼魚、白米、お茶

～学歴ではなく実力社会へ～

公式LINE開始!
登録お願いします!



ポスター掲示を
お願いします。

国会への

お誘い

国会議事堂 見学しませんか?

～小学校の修学旅行以来ですか?～

様々な論戦が行われている国会。ニュースでは放送されていますが、小学生の修学旅行で国会見学以来、一度も行ったことが無い、という方が多いのではないのでしょうか?

もう一度、国会見学をしませんか? 9名様以下なら予約不要で気軽に見学できますよ。是非一度、国会見学してみてください。

10名以上の場合は井林たつのり事務所(連絡先表紙)へご連絡下さい。



“井林たつのり”のスマイルメッセージ

第1・第3・第5<水曜日>F M島田(76.5MHz)

放送; 8:10～再放送; 18:35～

サマルラジオ、YouTube、ポッドキャストでも

ご支援をお願い申し上げます

～個人献金のお願い～

志太・榛原だけでなく、静岡県そして日本の為に粉骨砕身働いていくために、物心両面で多くの方々のご支援が必要です。

ご賛同いただける方は、月に千円からのご協力をお願い申し上げます。下記にFAX頂くか、電話(054-639-5801)又はメール(office@t-ibayashi.com)でお伝えください。

FAX 054-639-5802

※ご加入口数(□に✓を入れるか、__に月の口数をご記入ください)

□1□ □3□ □5□ □__□(1□千円/月)

お名前

※個人名でのご支援をお願いしています

住所

〒 -

国籍

(選択してください) 日本・その他

※個人献金は日本国籍保有者のみ認められています

TEL/FAX

生年月日

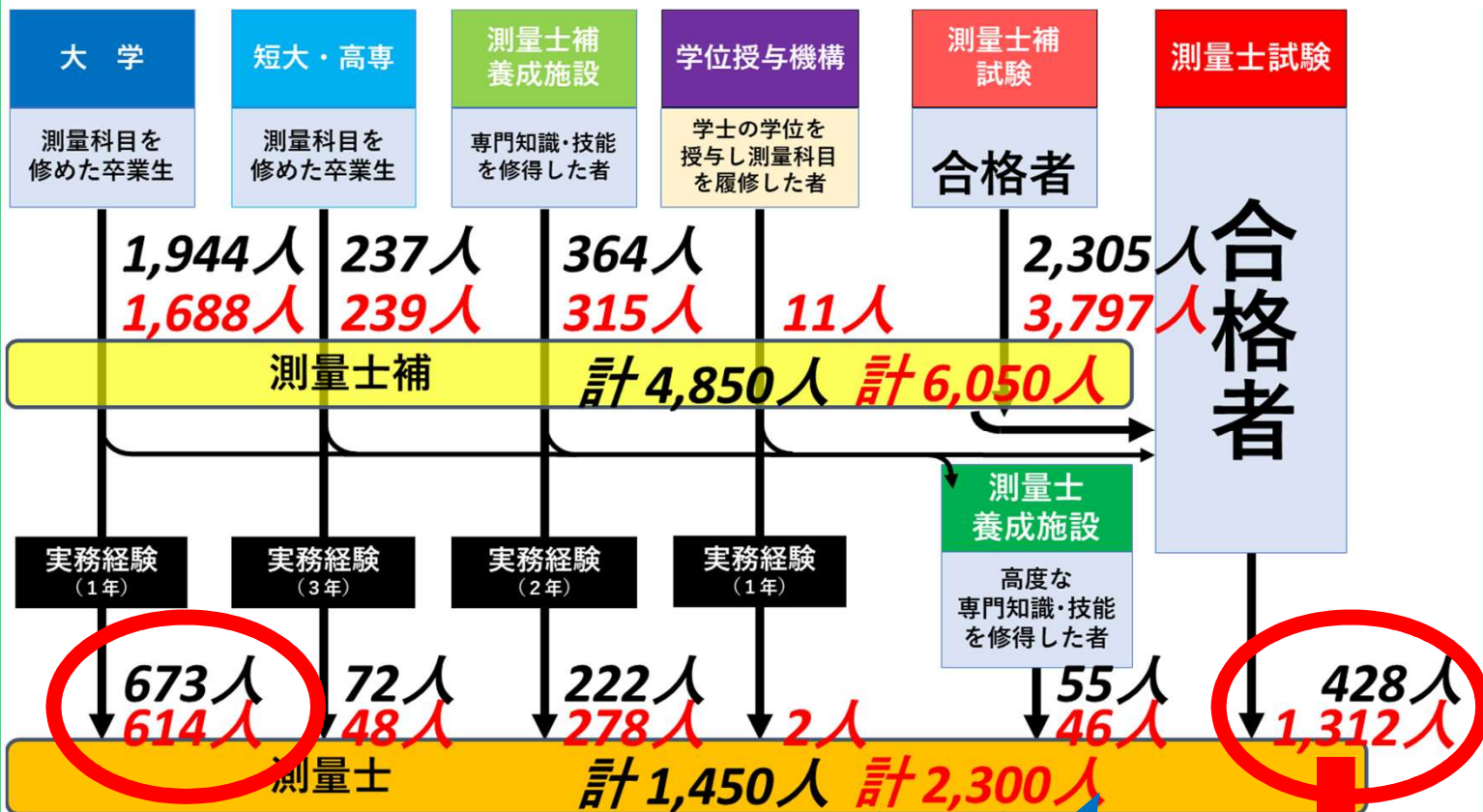
測量士試験制度改革

測量士試験は学歴による違いが大きすぎた！

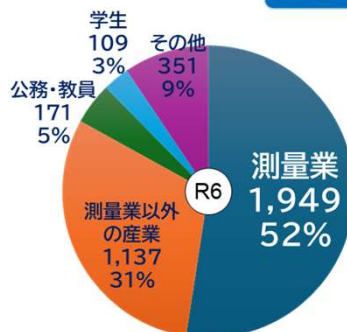
道路沿いでレンズを覗きながら地形を測っている方を見たことがありませんか？測量と言う大事な仕事です。地形を測り記録することはとても大事で、国・県・市町から仕事が出る事が多いので「測量士」と言う資格を求めています。この測量士は大学で測量科目を修めると取得しやすいのですが、大学で履修しない方や、高校卒業生には大変難しい資格でした（合格率十数％程度）。

この状況は正しいのでしょうか？測量士に求められるのは、学生時代に学んだ事（学歴）ではなく、現時点において測量と言う大切な仕事を遂行出来る能力ではないのでしょうか？

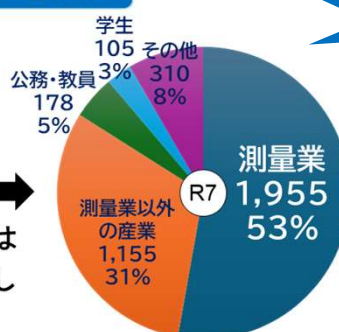
また、地元の測量会社で働く方々から「測量士の試験が難しすぎる」「実際の業務に必要な学術的知識を求めるのは正しいのか？」「実際に能力がある人が資格を取れない」などの声を数多くいただきました。



測量士試験の受験者の業種別割合

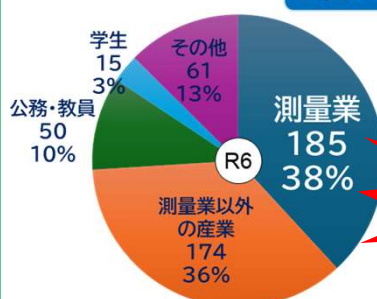


受験者割合は
ほぼ変化なし

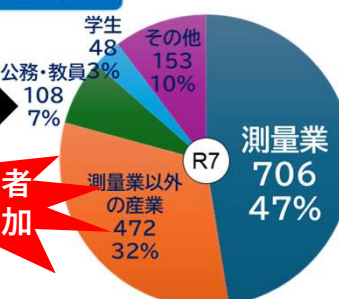


学卒者を
実務試験者逆転！

測量士試験の合格者の業種別割合



測量業従事者
合格割合増加



そこで、試験制度を抜本的に改正し、大学の授業で習うような試験ではなく、現場での測量能力を問う試験に改正しました。結果は

○測量士の合格者数は学卒者を実務経験者（試験受験者）が逆転！

○合格者に占める測量業従事者割合が増加となり、学歴ではなく実務能力中心の資格に変える事が出来ました。

一年間に千人です。日本全体から見たら小さな分野かもしれませんが、しかし、学歴万能主義から決別し、何を学んだかではなく、現場で働く能力を評価する実力主義に変えていかなければなりません。

一人一人の、現場で頑張る方の汗と努力が報われる社会を目指して、これからも取り組んで参ります！